

「ヒト血清および尿検体を用いたアスペルギルス フミガータス分泌タンパク質サンドイッチ ELISA 検出系の有効性の検討」への協力のご依頼

1〔研究目的〕ヒトの免疫が弱っているとアスペルギルスという真菌（病原体）が重篤な感染症を起こすことがあり、現在の方法より診断精度が高い簡便な検査法が必要と考えられています。そこで、国立感染症研究所と協力医療機関・大学等でこれまでより正確で、かつ痛みの少ない検査方法を開発することを目的として研究開発を行っています。

2〔研究計画〕

アスペルギルス感染が疑われる、あるいは、アスペルギルス感染症と診断された方、さらに本研究に使用させて頂いたアスペルギルス感染症と年齢・背景疾患等が類似した他の病気の方の血液や尿を用いて、開発中の検査法の評価を行います。血液や尿は、診療の一環として病院で採取され検査に用いられた残余部分がある場合に研究に使用予定です。研究期間は平成31年（2019年）4月1日から令和7年（2025年）3月31日までです。本研究では、国家公務員共済組合連合会・虎の門病院（東京都港区）、または、大阪公立大学病院（大阪府）で研究機関の長の研究実施許可以降に採取された血液と尿を国立感染症研究所で検査します。

3〔個人情報の取扱いについて〕

この研究では、個人が特定できないように、病院において検体から個人情報を削除します。国立感染症研究所には、検体提供者の病名と経過、感染症関連の検査成績のみが提供されますので、個人情報（プライバシー）は保護されます。

4〔研究協力の任意性について〕

この研究のために血液や尿を提供するかどうかは、あなたの自由意思です。提供しなかったことにより不利益を受けることは一切ありません。また、同意後においても、いつでも撤回できます。その場合には（主治医）に申し出てください。国立感染症研究所への提供前であれば、あなたの意思によりいつでも撤回できます。

5〔本研究に関する問い合わせ、相談等について〕

研究責任者 大阪公立大学大学院 医学研究科
（所属） 臨床感染制御学 教授
（氏名） 掛屋 弘（かけや ひろし）
TEL: 06-6645-3784 FAX: 06-6646-6056
E-mail: akeya@omu.ac.jp